

はほまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.97
特別号
2021.12



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

日頃より、マリンビジョン協議会に対し多大なるご理解・ご協力、ご声援をいただき誠にありがとうございます。

歯舞地区マリンビジョン協議会は平成18年の発足当時から、地域の活性化を図るべく「最東端の海からのメッセージ」をキャッチフレーズに、水産物のブランド化（一部会一品運動）、地元催事の開催、水産教室、北方領土県民会議や旅行会社のツアー受入れ、漁民泊の受入れ等を実施してきました。また、これらの取組をSNS等で積極的に紹介したり、全国各地で講演会を開催するなどして、広く情報発信を続けてきました。

昨年から続くコロナ禍により活動が制限されることが多々ありましたが、状況にあわせて形を変えながら、引き続き地域活性化に向けた様々な取組みを実施してきました。今年度の当協議会の活動を一部ご紹介したいと思いますので、是非ご一読ください。

第17回マリンナレッジオンラインサークル

1月30日(土)、マリンナレッジオンラインサークル(オンライン漁村勉強会)が開催されました。今回のテーマは「コロナ禍と漁業と水産物流通」で、歯舞漁協からは中村直樹参事が参加し、話題提供しました。

世界的に流行しているコロナ禍の中、漁業者へ安定した経営の補助や安心できる水産物の流通に向けた意見交換会となりました。



「沿岸地域社会調査」について、東京海洋大学とオンラインインタビュー実施

2月4日(木)、新型コロナウイルスの影響により現地での調査が出来ない事から、オンラインによる「沿岸地域調査」を実施しました。

内容は、①国境付近での漁業について、②ブランドの由来、コンセプトについて、③ブランドの維持、サンマ漁の動向について、④漁家の後継者問題、昆布漁・養殖について、⑤漁協の連携、マーケティングについてで、質問形式によるオンラインインタビューを受けました。

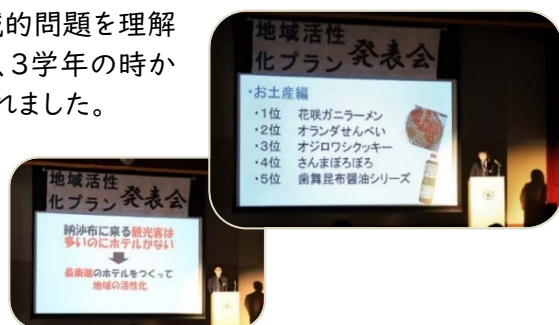


根室市立歯舞学園にて「地域活性化プラン」報告会を開催

2月5日(金)、「地域活性化プラン」は、根室・歯舞の抱える地域的問題を理解し、生徒一人一人が地域活性化に向けた取組みを考える学習で、3学年の時から7年間にわたり学習してきた、その集大成となる報告会が開催されました。

報告会では、特産品や観光スポットのPRや、フランチャイズ店の誘致、最東端のホテル建設など、地域活性化に向けた生徒たちの思いが熱く語られました。

これまで学習したことを活かし、将来、先頭に立って根室・歯舞地域を盛り上げてくれることを期待しています。



日本一遅く咲く桜並木の整備事業



5月13日(木)午前9時より、今年で15年目を迎える『日本一遅く咲く桜並木』の整備を行いました。

今回は歯舞漁港背面地に成木2本を植樹しましたので、これまで植樹した161本の桜と合わせ、合計163本となりました。

そして5月24日(月)、去年より4日ほど早く、かわいいお花を無事に咲かせてくれました。

歯舞は潮風が強く、桜が育ちにくいと言われておりますが、多くの方々から寄贈していただいた大切な桜なので、専門家にアドバイスをいただきながら、毎年立派な桜が咲くよう、しっかりと整備していきたいと思っております。

また、桜のみならず、植物はどんな辛い環境でも綺麗に咲こうと一生懸命頑張ります。

現在はコロナ禍の影響で大変厳しい環境ではありますが、私たちもこの厳しい状況にめげず、新しい組合施設も来年には完成するので、コロナ禍が収束した際には新施設をバックにこの『日本一遅く咲く桜並木』でお花見をしたいところです！

歯舞地区津波避難訓練

5月16日(日)正午、歯舞地区津波避難訓練が歯舞新光第2町会、歯舞第1町会、歯舞第2町会、歯舞第3町会と歯舞漁協の合同で行われました。

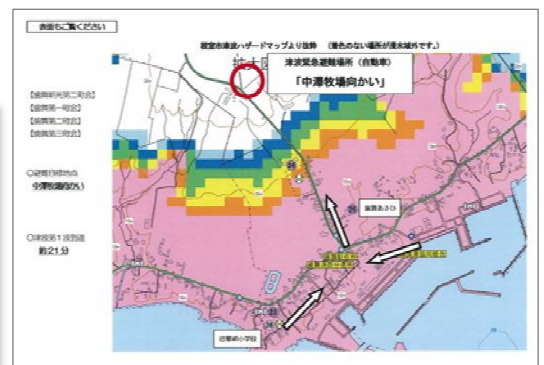
訓練は大地震と大津波警報が発表された事を想定したもので、根室市の防災無線と歯舞漁協の共聴無線放送による合図で、津波緊急避難場所である中澤牧場向かいの空き地へ避難開始。参加した地域住民の皆さんは、今回は強風の影響もあり、車でスムーズに避難していました。

歯舞漁協は通常業務時間を想定して避難訓練に参加。参加に当たっては2つの避難ルートを利用し、避難にかかる時間の計測を行いました。

近い将来、巨大な地震が発生すると言われておりますので、日頃から防災への意識を高く持ち、万が一に備えたいと思っております。



避難訓練の様子



歯舞地区のハザードマップ

中央大学でオンライン講義

6月10日(木)午後5時、組合小会議室にて中央大学と『沿岸環境社会システム概論』オンライン講義を行いました。本来であれば、片石先生、生徒の皆さんと顔を合わせて授業を行いたかったのですが、今年度もコロナ禍が収束しない為、「Webex」を用いたりリモート講義を行いました。

生徒の皆さんは画面越しでも中村常務と伊藤総務部長のお話を真剣に聞いており、中でも渚泊に興味を持ってくれる生徒がいてくれたことが嬉しく、「早くコロナ禍が収束しないかなあ」と願うばかりです。



歯舞学園 1・2年生 潮干狩り体験学習

7月12日(月)、トーサムポロ漁港にて、歯舞学園1・2年生34名を対象に潮干狩り体験学習が行われました。

開会式が終わると生徒たちは熊手とバケツを手に取り、すぐさまあさを掘り始めました。生徒たちからは大きなあさりや小さなサワガニを見つける度に歓声が上がり、終始とても楽しそうに自然と触れ合う姿が見られました。

これからも歯舞学園さんと協力しながら、はばまい学を通じ、生徒たちが水産業へより強く興味を持っていただける取り組みをしていきたいと思ひます。



歯舞学園の水産学習を実施

<7年生対象 あさりの稚貝移植作業>

歯舞学園の水産学習の一環として5月17日(月)に行う予定だったあさりの稚貝移植作業ですが、天候不順のため順延となり、5月27日(木)に実施されました。

まず第1回目として、あさり部会の長山吉博部会長(当組合監事)が講師となり、歯舞学園7年生の生徒13名を対象に歯舞学園校内にて稚貝移植前に座学授業、そしてあさり漁場での実習を行い、生徒の皆さんに学んで頂きました。

生徒の皆さんは漁場に着き、道具を受け取るや否やとっても楽しそうに作業をしていました。今回のように楽しく水産学習を行い、漁業の成り立ちをどんどん学んでもらいたいですね!



<8年生対象 昆布学習>

8月24日(火)、歯舞学園8年生を対象とした水産学習を歯舞漁協施設内で開催しました。

今回の学習内容は、昆布が製品化されるまでの作業工程と、当組合で販売している「はばまい昆布しょうゆ」の歴史等を動画で説明しました。また、施設見学として昆布が運び込まれている倉庫と昆布加工場の見学も行いました。

今回の水産学習は新型コロナウイルスの感染防止対策を講じた中での開催であり、実際に昆布製品の袋詰め作業を体験することは出来ませんでした。生徒の皆さんはとても真剣な眼差しで授業を受けていました。



講義の様子



昆布倉庫見学の様子

<4年生対象 歯舞漁協施設見学>

10月13日(水)、歯舞学園4年生を対象とした水産学習として、歯舞漁協の施設見学を実施しました。

はじめに生徒の皆さんから元気なご挨拶を頂き、組合事務所内の説明をしました。次に市場見学としてセリ台に実際に乗って頂き、市場部長の活気あるセリの体験授業を行い、荷揚げされたばかりの魚を見た生徒の皆さんはとても楽しそうでした。

次に向かった先が製氷工場で、いざ工場内に入ると「わー!寒い!」と喜ばしい叫び声が工場中に響き渡り、大きな氷に驚愕していました。

途中、現在着工している組合新施設も遠くから見たうえで向かった先は昆布直販所です。高々と積み上げられた昆布に驚いており、当組合で販売している商品にも沢山種類があることに興味を持ってくれました。



市場見学と製氷工場見学の様子



東京都開成学園とリモート講義



10月25日(月)11時30分より、組合小会議室にて東京都開成学園とリモート講義を行いました。

本来であれば、開成学園の生徒の皆さんと実際に顔を合わせて授業を行ったのですが、今年度もコロナ禍が収束しない為、「ZOOM」を用いたリモート講義となりました。

今回講義を行った開成学園は令和3年10月25日(月)現在、内閣総理大臣を務めておられる岸田首相の出身校でもあり、我々も光栄でした。

生徒の皆さんは画面越しでも中村常務の講義を真剣に聞いており、歯舞地域に深く関心を抱き、北方領土問題と真剣に向き合う若人に育って欲しいと心から願っております。



令和3年度マリンビジョン女性交流会議

10月25日(月)午後1時30分より、組合小会議室にて令和3年度マリンビジョン女性交流会議に当組合女性部長である櫻田部長が出席されました。

本来ですと、各漁協女性部長が一堂所に集まり、マリンビジョンの女性部活動事業について語り合う会議であります。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「Microsoft Teams 会議」を利用したオンライン会議となりました。

今回の議事については、「ウトロ地域マリンビジョンの取組」について、斜里町水産林務課の森課長より、漁業と観光を中心に活動している取り組み内容の説明がありました。

その後、コロナ禍を踏まえた取り組みの事例として、(有)蝦名漁業部 専務取締役 蝦名様より「えび」を主体としたコロナ禍事業の展開をご教示いただき、各漁協の女性部長より活動内容等の報告を行いました。

このご時世、密を避けて活動しなければいけないため、各漁協の女性部長も軒並みイベントが中止になることに苦悩と努力をしている様が今回の会議で報告されましたが、ウイズコロナを踏まえての活動報告もあり、とても充実した会議となりました。

当組合も他の組合さんに負けないよう、頑張っていきます!



道庁赤れんが庁舎前庭にて「まるごと根室直送市」

10月28日(木)~30日(金)にかけて、北海道庁赤れんが庁舎前庭にて「まるごと根室直送市」が開催されました。

今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年大好評のさんまの炭火焼等の飲食物の提供はありませんが、根室で獲れた新鮮な魚介類や水産加工品等を産地根室価格で販売しました。ブランドさんまを使用した一本立ちさんまの缶詰や歯舞産ホッキ貝を使ったぷりぷりほっ君も提供させていただきました。



中村常務理事が東京都開成学園・東海大学へ誘致

11月5日(金)、8日(月)、根室市と当組合の中村常務理事が東京都開成学園と東海大学海洋学部を訪れました。

中でも、東海大学海洋学部と根室市は「相互協力協定」を結んでおり、共同研究等を行っています。

これからもたくさんの学生が根室を訪れ、歯舞で揚がる水産物や歴史を実際に体験し、学びに来てほしいと思います。

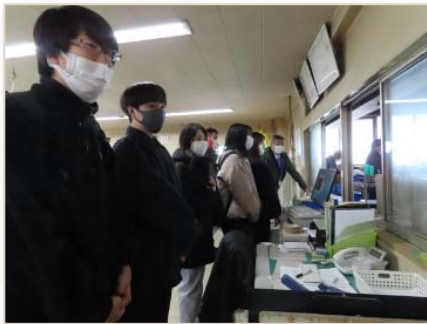


東海大学海洋学部が市場見学

11月2日(火)当組合にて、東海大学海洋学部の学生7名を対象とした市場見学を行いました。

東海大学海洋学部は根室市と「相互協力協定」を結んでおり、栽培漁業分野や食品加工分野などで共同研究に取り組んでいる関係の深い大学です。

今後とも根室市の地域振興へ貢献ができるよう、当組合のマリンビジョン協議会も全力でサポートしていきます!



秋の一斉清掃

11月5日(金)、歯舞漁港内で『秋の一斉清掃』を実施しました。

例年同様で歯舞漁港愛護会、歯舞漁協女性部や近隣の地区運営会そして当組合職員が参加し、清掃作業を行いました。

こういった清掃作業については港を綺麗にするというのはもちろんの事、ごみを海へ出さない等環境保全としての活動の一環となるため、とても重要な活動となります。

今後とも一人ひとりが環境保全に強く意識を持ち、「きれいな港づくり」を心掛けていきたいです。

そして大変嬉しいことに、今回の「秋の一斉清掃」において、現在着工している新施設の建設業者の皆様にも漁港清掃のご協力を頂きました。

ご協力頂きましたのは、まず組合新施設を建設している岩田地崎・渡辺特定建設工事共同企業体(岩田地崎建設(株)・渡辺建設(株))。次に歯舞漁港人工地盤工事関連業者(菖原建設工業(株)、勇・真壁・本田経常建設共同企業体(勇建設(株)・真壁建設(株)・(株)本田組)、村井建設(株)。最後に道道根室半島線道路工事関連業者(西尾建設(株))のなんと8社様!

総勢約100名近くの皆様のご協力を頂きました。本当にありがとうございます。

漁師の方も「こんな人数で清掃するのは見たことないな」と驚いていました。



さんまの燻製・鮭とば・鮭フレーク作りを実施

○10月29日(月) 歯舞学園9学年の生徒15名が、調理実習で「さんまのアレンジ料理」

○11月1日(月) 歯舞学園6学年の生徒16名が、調理実習で「鮭とば作り」

○11月5日(金) 歯舞学園8学年の生徒19名が、調理実習で「鮭フレーク作り」に挑戦しました。

これらは、地域の根幹産業である水産業への理解を深めるため、10年以上前から行っている伝統行事です。

当組合は秋鮭と秋刀魚を提供させていただき、生徒たちは魚をおろす作業からの実習となりました。

本来ですと、完成品は全校生徒等に提供されますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実習生徒のみで完成品を楽しみました。

現在のコロナ情勢が落ち着きましたら、また例年通りに実施となってほしいですね。



鮭とば作りの様子



さんまのアレンジ料理の様子



鮭フレーク作りの様子

NPO 法人マリネットワーク 2021 年度講演会



11月13日(土)、札幌にて『NPO 法人マリネットワーク2021年度講演会 一般社団法人寒地港湾空港技術研究センター CPC 交流セミナー』が開催されました。

講演内容として、「水産基盤整備のEEZに関する施策」や「洋上風力発電の動向について」等の講演が行われる中、当組合では中村常務理事が「小型漁船で操業する漁業者への防災情報の伝達について」と題して講演をしました。

内容としては、昆布船の操業中は風の音や船外機のエンジン音等が鳴り響く中、避難勧告の認識が大変難しい状況下でも沖に出ている着業者へ確実に伝達できる仕組みの調査内容について講演しました。

導入に向けてまだまだ検討しなければいけない課題はありますが、漁業者が安全安心に操業できるよう実現に向けて頑張ります。

歯舞学園第9学年による「水産学習報告会」、「出前授業」の実施



出前授業の様子

12月8日(水)、歯舞学園9学年の総合的な学習「地域活性化プラン」の協力要請を受け、出前授業を行いました。

出前授業では、当組合の概要や歯舞地区マリンビジョン協議会の取組について紹介し、中でも今回は、高碓達之助先生が地域漁民の為に東西冷戦の最中執り行った「民間協定」について熱弁し、生徒の皆さんはとても興味深く聞いておりました。

この極めて厳しい時代背景でも高碓先生が果たした協定の歴史は今後も絶やすことなく、先生が子へ、子がそのまた子へと語り継いでいき、「地域活性」を目指す上で忘れてはいけない歴史である事を熱く語りました。

★フェイスブックを活用したPR活動も行っております。下記のQRコードをスマートフォンで読み取り、ご覧ください。

根室地域(歯舞地区) マリンビジョン協議会

歯舞漁業協同組合では、フェイスブックを活用したPR活動も行っております。
まだご覧になった事のない方はぜひ下記QRコードをチェック！



←左記のQRコードをスマートフォンで読み取りください。

■編集・発行・お問合せ■

- ・編集・発行 歯舞地区マリンビジョン協議会
- ・お問合せ 歯舞漁業協同組合 総務部
- ・電話 0153-28-2121 FAX: 0153-28-2320

～ おわりに ～

新型コロナウイルスの感染拡大により、毎年恒例となっていた「歯舞おさかな・こんぶ祭り」「漁民泊」など、これまで継続してきた取り組みの中止を余儀なくされましたが、一方で感染対策を講じながら実施できた取り組みも多くあり、これもひとえに関係者皆様のご協力のお蔭と、心より感謝申し上げます。

今後も歯舞地域の活性化に向け、マリンビジョン活動を継続実施して参りたいと思っておりますので、皆様からの熱い応援とご協力・ご支援を宜しくお願いいたします。

■ 編集・発行・お問い合わせ ■

- 編集・発行 歯舞地区マリンビジョン協議会事務局
- お問い合わせ 事務局 担当：根室市水産経済部水産振興課水産振興担当
電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

